

G Suite for Education クイックスタート IT 設定ガイド



この資料の目的: パートナーや IT 管理者向けの G Suite for Education
導入学校の迅速なセットアップのための導入方法ガイド

目次

1

はじめに

2

G Suite for Education のお申し込み方法

3

5つの簡単なステップ

4

教育機関のお客様向けの共通ポリシー

5

リソース

6

Q&A

はじめに



Google for Education で学び、未来を育む

教育と学習を大規模に変革するためのツールを構築しました。今日、教育者とIT管理者は、生徒がどこにいても一緒に学習できるようになります。



Google for Education

生産化ツール

いつでもどこでも使用できる

G Suite for Education

デバイス

パワフルな性能でシンプル

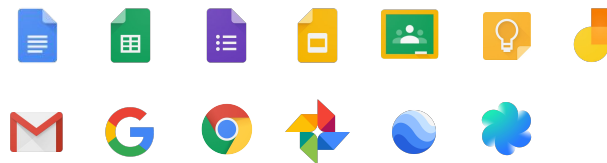


授業

学習に命を吹き込む



全体のエコシステム 30 以上の製品と 85 以上のイニシアチブ



[G Suite for Education](#) は Gmail、Classroom、ドキュメント、ドライブ、Classroom などを含んだ無料のコミュニケーションおよびコラボレーションツールです。

[Chromebook](#) は教室に対応したタブレットやクラムシェルまたはコンバーチブルデバイスなど、さまざまなフォームファクタを提供し、教室特有のニーズに対応します。

[Chromebook App Hub](#) は教育者と Chrome 検証済みの開発者をつなぐため、教師は有用なコンテンツのライブラリを学年、科目、教育目標ごとに閲覧できるだけでなく、他の教師から新しい教室での活動に関するヒントを見つけることができます。

組織全体の管理に役立つ ツールセット

- 管理者向けの高度なコントロール
- 強化された分析および検索機能
- ビジネス仕様のビデオ会議ツール「Google Meet」



G Suite for Education と Chromebook は厳格な基準への準拠をサポートしています



FERPA (Family Educational Rights and Privacy Act: 家庭教育の権利とプライバシーに関する法律)



Software & Information Industry Association (米国ソフトウェアおよび情報産業協会)



ISO/IEC 27018:2014
(データ保護規格)



COPPA (Children's Online Privacy Protection Act of 1998: 児童オンライン プライバシー保護法、1998 年)



Future of Privacy Forum (FPF: プライバシーの未来フォーラム) が提唱する Student Privacy Pledge (生徒のプライバシーに関する誓約)

プライバシーと
セキュリティに関するよく
ある質問

Google はデータを安全に
保護していますか？

[はい。詳しくはこちら。](#)

G Suite には広告が
表示されますか？

[いいえ。詳しくはこちら。](#)

Chromebook はオフラインで使
用することができますか？

[はい。詳しくはこちら。](#)

Chromebook で Microsoft Office を
使用することができますか？

[はい。詳しくはこちら。](#)

Chromebook は印刷することが
できますか？

[はい。詳しくはこちら。](#)

レガシーソフトウェアプラッ
トフォームにアクセスできま
すか？

[はい。詳しくはこちら。](#)

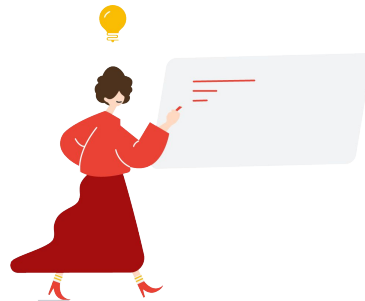
Chromebook には十分なハードド
ライブ容量がありますか？

[はい。詳しくはこちら。](#)

Chromebook には十分な RAM と処
理速度がありますか？

[はい。詳しくはこちら。](#)

お申し込み方法のご案内



1

G Suite

使ってみましょう

学生と教員の交流方法が変わります。G Suite for Education は対象となる教育機関の方々に無料でご利用いただけます。

教育機関用のアカウントを作成する手順をご案内します。

[次へ](#)

G Suite for Education (<https://goo.gl/xrvzJ9>) に
アクセス



2

貴校・貴所に関する情報

機関名

貴校・貴所で提供している教育の種類を選択してください
ご不明な場合は詳細をご覧ください

- ☐ 初等または中等教育機関
学区、小学校、中学校、高校を含む
- ☐ 高等教育機関
大学、専門学校、大学院を含む

次へ

教育委員会名もしくは 学校名を入力

・貴校・貴所で提供している
教育の種類を選択

3

貴校・貴所の詳細

貴校・貴所のウェブサイト

例: example.edu

生徒や教職員の数

お選びください

次へ

ウェブサイトを入力

- ・xxx.schoolname.com などの URL を記入
- ・生徒と教職員の数を選択

4

貴校・貴所の所在地と電話番号 を入力

国
日本

貴校・貴所の電話番号

●

次へ

国と電話番号を入力

・貴校の所在地(国)と電話 番
号の入力

5

組織の住所を入力

郵便番号

都道府県

町村、番地

番地 2

次へ

住所を入力

- ・貴校の郵便番号、都道府県、
所在地詳細の入力

6

ご連絡先をお知らせください。

Google からの連絡を受け取れるよう、定期的に確認するメールアドレスを入力してください。

姓

名

現在のメールアドレス

次へ

メールアドレスを入力

・受信できるメールアドレス を入力

7

貴校のドメイン所有に関する情報

貴校用のメールと G Suite for Education アカウントを設定するには、example.edu のようなドメインが必要です。?

使用できるドメインがある

ドメインを購入

ドメイン所有情報

・[使用できるドメインがある]

＞既にご準備されているドメイン で G Suite for Education をご利用する場合

・[ドメインを購入]

＞新規でドメインを購入し、購入 したドメインで

G Suite for Education をご利用する場合

8

貴校・貴所のドメイン名を入力

貴校・貴所がこのドメインの所有者かどうか確認する方法を追ってご案内します。?

ご利用のドメイン名

例: example.edu

次へ

ドメイン名を入力

・既にお持ちのドメイン名を入力

9

このドメインを使ってアカウントを設定しますか？

ご利用のドメイン

このアカウントでメールアドレスを設定するまで、

に送信されるメール

への影響はありません。

次へ

新しいドメインを購入する

ドメイン名を確認

・使用するドメイン名を確認

10

ログイン情報を入力しましょう

ユーザー名を使用して管理者アカウントにログインします。 ②

ユーザー名

パスワード
8文字以上で指定してください

次へ

ログイン情報を入力

- ・管理者のメールアドレスを作成

11

フィードバックをお寄せください

Google サービスの使用に関する優れたアイデアを Google にお寄せください。Google からは役に立つ使い方、特典、お知らせを掲載したメールをお送りします。

OK

いいえ

フィードバック

- ・Google より様々なお知らせなどの受け取りにご協力いただける場合は「OK」をクリック

12

G Suite for Education に関する学校同意書

生徒が G Suite for Education のコアサービス（以下「コアサービス」）を使用するには、学校の同意が必要です。

G Suite for Education で Google がデータを収集、利用、開示する方法に関し、下記の情報をご確認のうえ、以下で同意していただく必要があります。この同意を得ない限り、Google が生徒の個人情報を収集、利用、または開示することはありません。

また、18 歳未満の生徒に追加サービスの利用を許可する場合は、学校が親または保護者の同意を得る必要があります。生徒に対して有効にするコアサービスについて、親または保護者の同意を得ることをおすすします。親および保護者に対して使用できるカスタマイズ可能なテンプレートなど、保護者の同意を得るためのリソースについては、こちらをご覧ください。

下記の情報だけでなく、G Suite for Education のプライバシーに関するお知らせもご確認ください。プライバシーに関するお知らせには、G Suite for Education ユーザーを対象とした Google プライバシーポリシーの主要箇所の要約、およびユーザー コントロール、保護者による個人情報の確認と削除、Google への問い合わせ方法に関する情報も記載されています。

Google が収集する情報

収集した情報の利用方法

同意して続行

G Suite for Education に関する学校同意書

- ・内容をご確認の上、「同意して続行」をクリック

13

これでアカウントの作成手続きはほぼ完了です

ロボットではないことを証明してください。

☐ 私はロボットではありません



reCAPTCHA
プライバシー - 利用規約

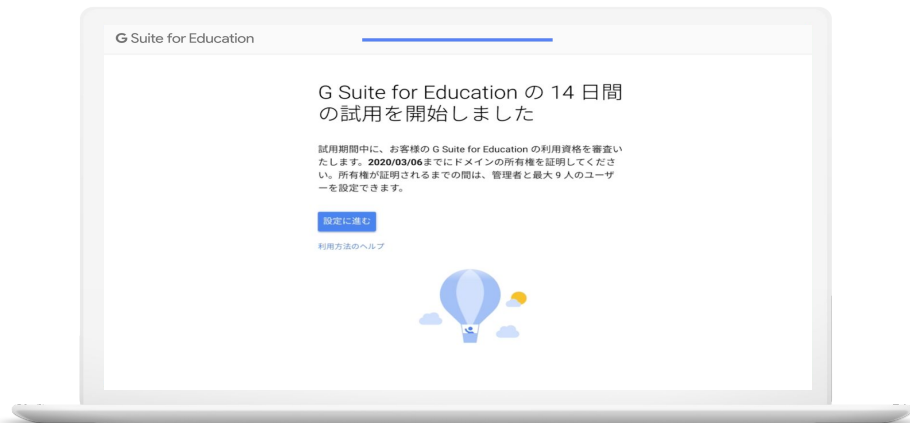
[同意してアカウントを作成] をクリックすると、G Suite for Education と G Suite for Nonprofits 契約に同意したことになります。

同意してアカウントを作成

G Suite for Education 申し込み完了

- ・申し込みに関する入力完了

G Suite for Education 申し込み完了!



お申し込み手続きを完了すると、G Suite for Education を 14 日間試用できるようになります。
(試用期間中は 10 ユーザーまでの制限があります)。G Suite for Education を引き続きご利用になる場合は、できるだけ早く次の手順を行っていただく必要があります。

1. まず、ドメインの所有権を証明します。これによって Google サービスのドメインを他のユーザーが許可なく使用していないことが確認されます。
2. Education へのアップグレードのお申し込みが自動的に送信されます。Google Cloud サポートチーム (esupport@google.com) からのメールをご確認のうえ、ご返信ください。

設定の手順



5つの簡単なステップで設定する

1

アカウントを作成

1. [G Suite for Education](#) に申し込む
2. ドメインを所有している場合 : [ドメインの所有権を証明](#) する

2

組織構造を決定

- [組織構造のしくみ](#)

3

ユーザー アカウントを作成

- [ユーザーの追加方法](#)

4

サービスを有効/無効にする

1. [Gmail](#) と [カレンダー](#) を無効にする (迅速なセットアップにお勧め)
2. [Google Meet の高度な機能](#) を使用する
3. 教師と生徒に [Classroom へのアクセス](#) を許可する

5

GSuite for EDU: 登録方法

1. ユーザーの [パスワード設定](#) を管理する
2. 高等教育機関のアカウントのみ *: [パスワードのリセット方法を設定](#) する



[クイックスタート IT 設定ガイド](#)

*幼稚園から高校までのG Suite for Education ユーザーは、自分のアカウントに再設定用の電話番号やメールを追加することはできないため、忘れたパスワードを自分でリセットすることはできません。

ドメインの所有権を証明する

最適なオプション: ドメインの購入 サインアップしたときの Google パートナー G Suite 向け。

それが不可能な場合にのみ、検証プロセスを通じて

- TXT、CNAME、または MX レコードを使用する(ドメインの DNS 設定)。
- メタタグをウェブサイトアップロードします。
- HTML ファイルを Web サイトにアップロードします。

TXT 確認レコードを追加する (任意のドメインホスト)

注: この手続きは、確認レコードを取得した管理者が完了まで行う必要があります。確認レコードは管理者ごとに異なるため、ドメインの所有権の証明は、同一の管理者が開始、完了する必要があります。

[すべて開く](#) | [すべて閉じる](#)

1. 確認レコードを取得する

確認レコードは設定ウィザードか Google 管理コンソールで取得できます。

設定ウィザードでレコードを取得する

Google サービスのお申し込みが完了したら、セットアップウィザードに沿って、ドメインの所有権の証明を含むアカウント設定を進めます。

1. **[ドメインの所有権の証明とメールの設定]** ページでリンクをクリックし、利用中のドメインホストのログインページを新しいタブで開きます。ドメインホストのログインページを開くオプションが表示されない場合は、**[別の方法を選択]** をクリックし、**[ドメインホストレコードを追加 (TXT または CNAME)]** を選択します。
2. ドメインホストにログインします。
3. 設定ウィザードで、次のチェックボックスをオンにします。
 - [ログインできました]
 - [自分のドメインのコントロールパネルを開きました]
4. **[新しい TXT レコードを作成します]** で、**[値 / 応答 / 参照先]** 欄の内容をコピーします。これにより、確認レコードの値がコピーされます。

☒ I have opened the control panel for my domain.

Add a new TXT record to your domain.

1

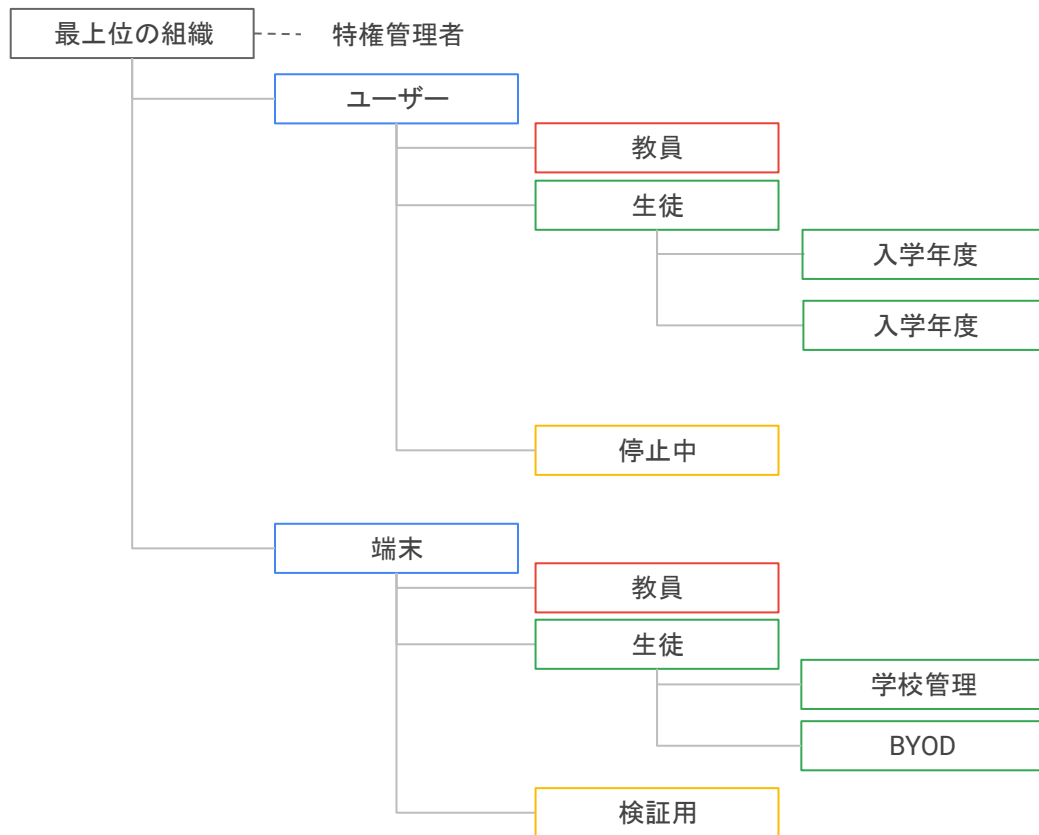
2

3

4

5

組織構造を決定



1

2

3

4

5

ユーザー アカウントを 作成

1. [マニュアル](#)
2. [CSV ファイルから追加する](#)
3. [AD Sync: GCDS / GADS](#)
4. [API](#) 管理
5. [GAM](#) ツール



1

2

3

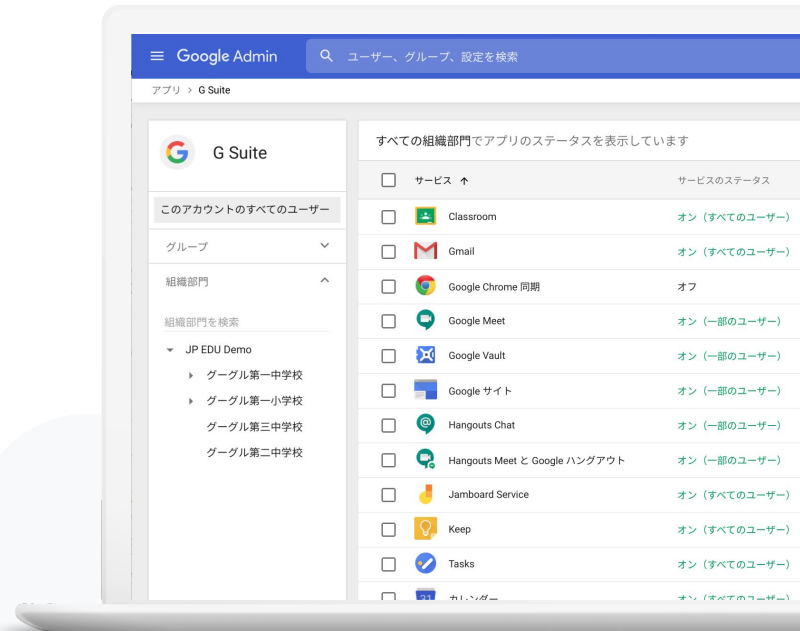
4

5

サービスを有効/無効にする

1. [Gmail](#)と[カレンダー](#)を無効にする(迅速なセットアップにお勧め)
2. [Google Meet](#)の高度な機能を使用する
3. 教師と生徒に [Classroom](#) へのアクセスを許可する

コアサービス に含まれるもの: Gmail、カレンダー、連絡先、ドライブ、Google Meet、Keep、サイト、グループ、Vault、Classroom、Jamboard、Chrome Sync



基本的なセキュリティの設定

1. [パスワードを設定](#)
2. [パスワードのリセット方法を設定](#) (高等教育機関のアカウントのみ)

安全なパスワードを作成してアカウントのセキュリティを強化する

安全なパスワードを作成して再設定用の情報を更新することで、Google アカウントを保護できます。

ステップ 1: 安全なパスワードを作成する

安全なパスワードは次のことに役立ちます。

- 個人情報を安全に保管する
- メール、ファイル、その他のコンテンツを保護する
- 他人がアカウントにアクセスできないようにする

パスワードの要件に準拠する

8 文字以上のパスワードを作成しましょう。半角英字、数字、記号（ASCII 標準文字のみ）を組み合わせることができます。アクセント記号やアクセント記号付き文字は使用できません。

次のようなパスワードは使用できません。

- 安全性が著しく低いパスワード（「password123」など）
- お使いのアカウントで以前に使用したことがあるパスワード
- スペースで開始または終了するパスワード

安全なパスワードを作成するためのヒント

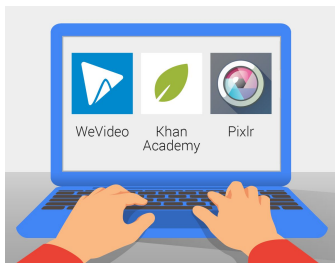


ユーザー設定の共通ポリシー

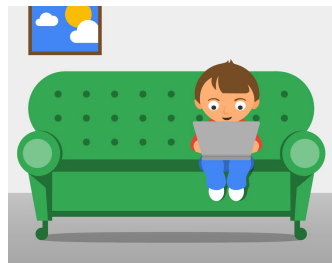
カスタマイズ



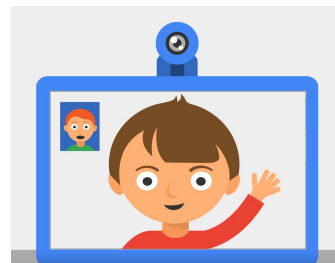
アプリ管理



セキュリティ(会議)



セキュリティ(ハードウェア)





カスタマイズ

ユーザー エクスperiences

管理対象のブックマーク
ローカルに適用 ▼
📁 📌 📱

起動

ホームボタン
ローカルに適用 ▼
📁 📌

ブックマーク バー
ローカルに適用 ▼
📁 📌

ホームページ
ローカルに適用 ▼
📁 📌

起動時に読み込むページ
ローカルに適用 ▼
📁 📌

管理対象のブックマークのフォルダ名

ユーザーのブックマークの管理

リンク名	URL
グーグル第一小学校	www.google.com/edu

ユーザーによる決定を許可 ▼

ユーザーに設定を許可 ▼

起動ページ
http://www.google.com

ユーザーとブラウザの設定

デバイスの設定

管理対象ゲストセッション

<

+ フィルタを追加、または検索

セッションのタイムアウト設定

1~1,440 分。セッションを無制限にする場合は空白にしてください

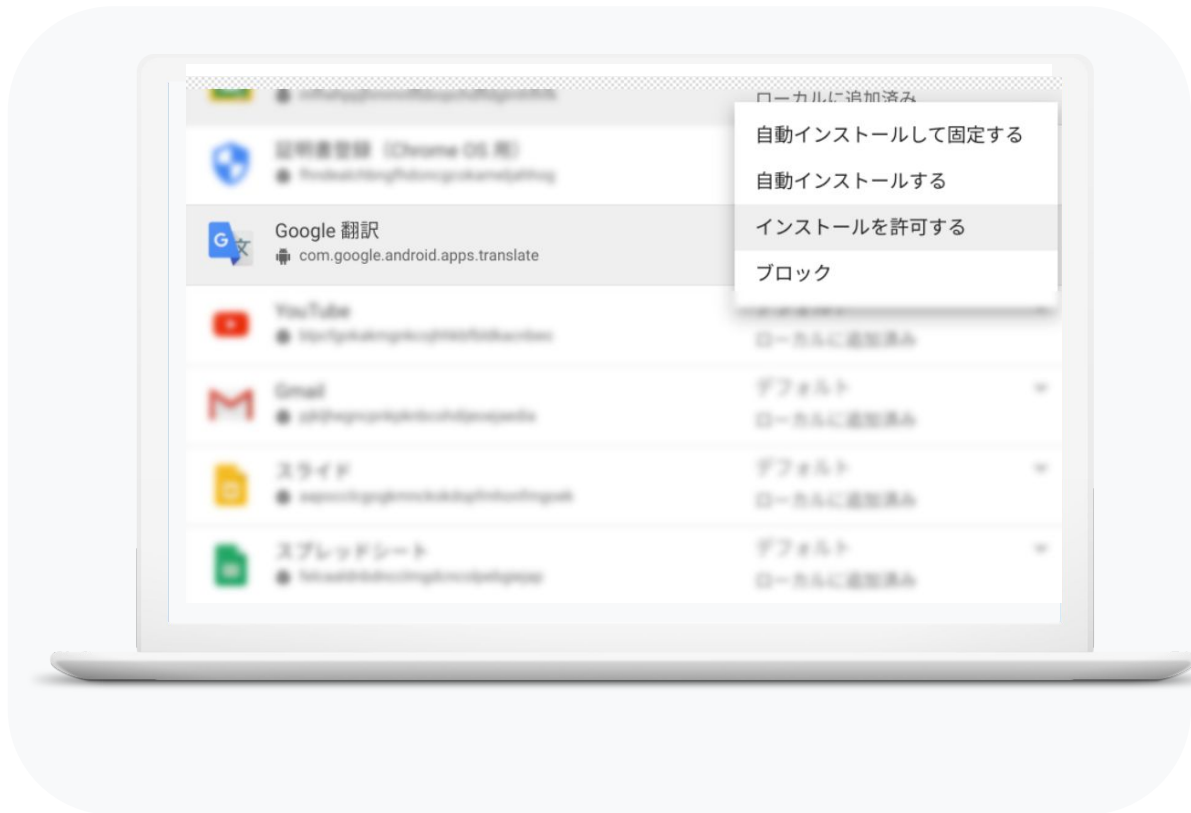
アップロード

アップロード

Smart Lock for Chrome を許可しない ▼

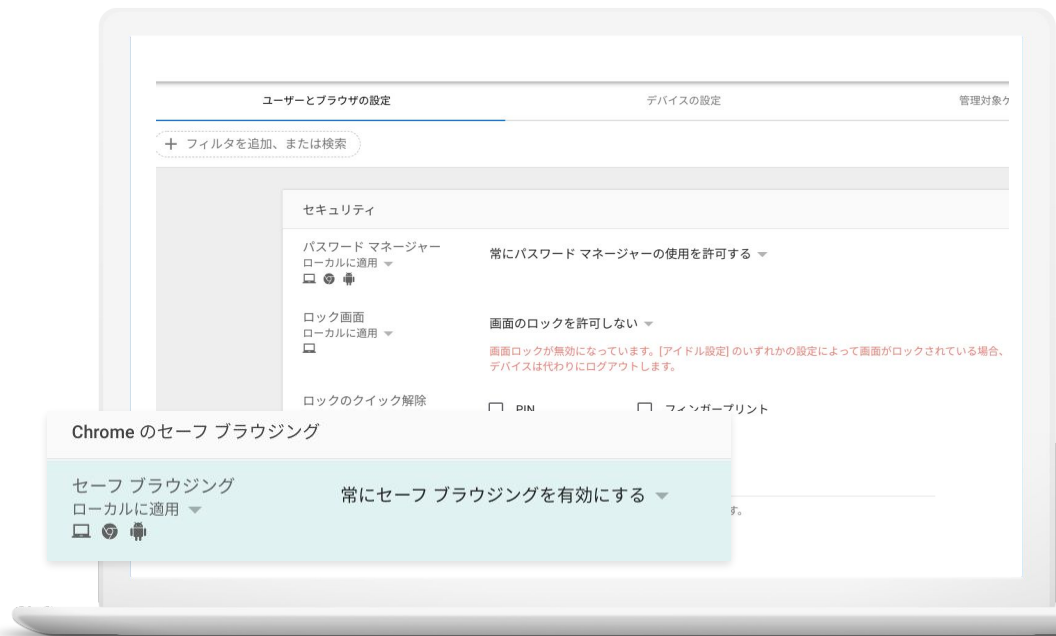


アプリと拡張機能 の管理





セキュリティ(構成)





セキュリティ(ハードウェア)

外部ストレージデバイス 組織のユーザーがChrome デバイスを使用して、USB フラッシュドライブ、外付けハードドライブ、光学式ストレージ、Secure Digital (SD) カード、その他のメモリカードなどの外付けドライブをマウントできるようにする。

オーディオ入力: 組織のユーザーがウェブサイトにChrome デバイスの内蔵マイクから音声入力へのアクセスを許可できるようにする。

音声出力: 組織内のユーザーがChrome デバイスでサウンドを再生できるようにする。この設定は、内蔵スピーカー、ヘッドフォンジャック、HDMI および USB ポートに接続された外部デバイスを含む、Chrome デバイスのすべてのオーディオ出力に適用される。

ビデオ入力: ウェブサイトがChrome デバイスのウェブカメラにアクセスできるように設定する。

ハードウェア

外部ストレージ デバイス
ローカルに適用 ▼
🔒

SD カード、USB フラッシュ ドライブ、MTP デバイス。
外部ストレージ デバイスを許可する ▼

オーディオ入力 (マイク)
ローカルに適用 ▼
🔒 🔊

マイクとオーディオ入力
毎回ユーザーに許可を求める ▼

オーディオ入力 が許可された URL
Google のデフォルトに設定し...
🔒 🔊

許可する URL パターン (各行に 1 つずつ入力)

プロンプトの表示なしにオーディオ入力デバイスへのアクセスが許可されるドメインが含まれるようドメインの前に [*] を付けます。

音声出力
ローカルに適用 ▼
🔒

スピーカーとオーディオ出力
オーディオ出力を有効にする ▼

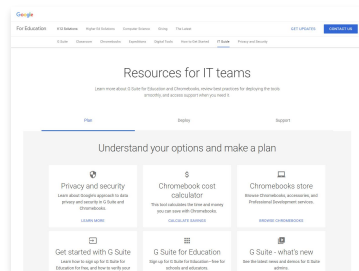
ビデオ入力 (カメラ)
ローカルに適用 ▼
🔒 📷

ビデオ入力を有効にする ▼

リソース



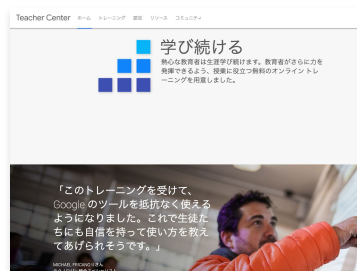
リソース



[Google for Education](#)

[ITガイド](#)

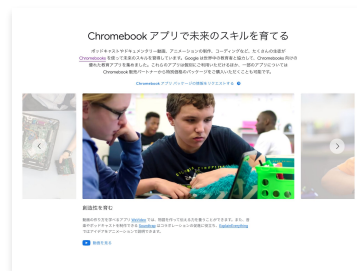
[\(IT管理者\)](#)



[Google for Education](#)

[トレーニング・センター](#)

[\(教職員\)](#)



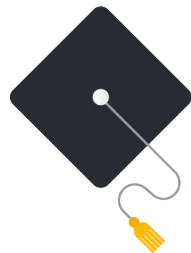
[教育コンテンツ](#)

[\(教職員\)](#)



[セキュリティとプライ
バシー](#)

[\(教育機関\)](#)



ありがとうございました。